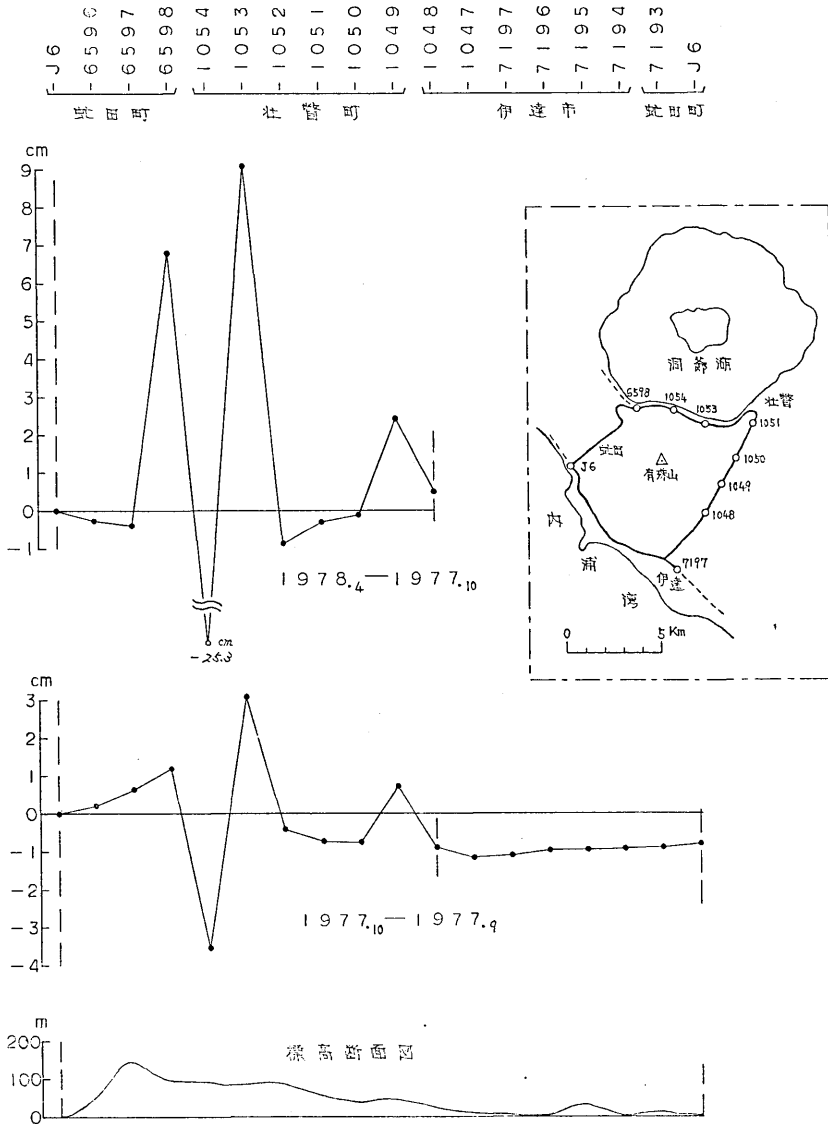


# 有珠山周辺の上下変動\*

国土地理院

国土地理院では、1977年10月の水準測量改測に続いて、1978年4月に有珠山を一周する水準路線のうち、南西側を除く地域について改測を実施した。



第1図 有珠山周辺の上下変動

\* Received July 27, 1978

第1図において、上図は今回の測量結果と1977年10月の結果との比較による上下変動、下図は1977年10月と9月の測量結果から得られた上下変動をそれぞれ表わしたものである。

図から明らかなように、二つの変動のパターンが類似しているのが特徴的である。今回の測量結果によれば、有珠山の北方、洞爺湖周辺地域の水準点6598と1053で5cmを越す隆起、2点の間にある水準点1054はおよそ25cmの沈下が見られ、1977年10月の1ヶ月当りの変動量<sup>1)</sup>、数cmの隆起と約5cmの沈下から判断すると、変動の速さは若干小さくなっていると考えられる。波長の短い局地的な変動は依然として続いているようである。

#### 参 考 文 献

- 1) 国土地理院(1978)：有珠山周辺の水準路線測量、火山噴火予知連絡会会報、№11、45～46。